

022

産学共同での「BIY（Bousai It Yourself）防災バッグ」の開発

取組主体

マツシロ株式会社/近畿大学

従業員数

想定災害

実施地域

15人/9,749人

地震等

大阪府

- 近畿大学と共同で、顧客の自助意識向上に貢献する防災バッグを開発。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

自助意識を向上させるユニークな防災アイテムを学生と開発

- 紙袋の製造販売を行うマツシロ株式会社は、近畿大学と共同で「BIY（Bousai It Yourself）防災バッグ」を開発した。
- 同製品には、災害時に必要となる物品 29 点がイラスト入りで記載されており、半透明のポリエチレンでできているために中身のチェックが容易である。耐荷重量は、12kg で様々な防災グッズや、12 リットルの水を入れて運ぶことができるほか、水と洗剤を入れて上下に振ることで洗濯することもできる。
- 同社の代表は、近年多発する自然災害に対して、手提げ袋で新たな防災が提案できないか、同社と同じ東大阪市内にある近畿大学に企画を持ち掛けた。平成 29 年より、同社と近畿大学の文学部及び経営学部のゼミが共同で商品開発を開始し、経学部による市場調査を踏まえ、2つのゼミが商品のアイデアを出し合った。
- 誰にでも扱いやすいことに加え、購入して日が経つと中身の物を忘れてしまう点を改善する商品を目指し、6 か月の講義を経て完成したのが「BIY（Bousai It Yourself）防災バッグ」である。商品名の由来は、Do It Yourself（DIY：自分で作る日曜大工）であり、災害に備えて自身で準備しようという意味が込められている。同社は、親しみやすく、かつ覚えやすい製品イメージをアプローチすることで、防災意識の向上につなげることを目指している。



学生のアイデアを活かしたデザイン

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同製品は従来の非常用袋に比べてコンパクトであるという特徴がある。同社は、実際に同製品を会社用の備蓄品として活用している。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同製品は、同社が開発・販売する初めての防災用品である。今後はより多くの人々の防災の意識を向上につなげるため、さらなる販路拡大や新たな商品開発を行う方針である。

担当者の声

- 「BIY 防災バッグ」は、学生と一緒に考えてできた防災用品です。子どもから大人までこの商品を利用して防災意識を高め、もしもの時に対する心構えを持つきっかけになれば幸いです。

問合せ先

マツシロ株式会社 法人番号：6122001007139  
 TEL：072-962-1431 FAX：072-963-0128 E-Mail：matsushiro@m-elitebag.co.jp

動画

